

ADB、期間5年のタイバツ建て債券を発行 総額40億バツ、インド、マレーシアに続き3番目

〔マニラ フィリピン 2005年5月18日〕 アジア開発銀行（ADB）は18日、タイの現地通貨バツ建ての債券をタイ国内資本市場で発行した。償還期間5年で、調達総額は40億バツ（円換算で約110億円）。主幹事は米シティーコープとサイアム商業銀行。

ADBは、2004年2月にインドで、11月にはマレーシアで、それぞれ現地通貨建て債券を発行しており、今回は3回目の現地通貨建てでの債券発行となる。

今回のバツ建て債券は発行価格100、年利3.87%で、5年ものタイ国債をスプレッドで17ベーシスポイント上回る金利水準となっている。

発行前に、ADBと主幹事がバンコク市内で主要投資家向けに説明会を行った。発行前の債券に対する需要は強く、応募額は2倍に達した。銀行、年金基金やアセット・マネージャーを含めた機関投資家に広範に発行された。また、この発行は国際的な関心を呼び、3分の1は海外投資家に割りあてられた。

ADBのバツ建ての債券発行は、タイの資本市場では初もの尽くしだった。初の外国発行体によるものでしかも初の超国家的な発行であること、また海外の格付け機関のフィッチ、ムーディーズ、スタンダード&プアーズからは、ADBのバツ建て債券が、タイの資本市場で初のトリプルAの格付け評価を受けた。

ADBのケンペン・フォルセナ副総裁は「今回のバツ建て債券発行は、昨年のインドやマレーシアでの現地通貨建てによる債券発行以来のもので、アジア地域の債券市場を発展させるためにADBが行った画期的なものと言っていい」と述べている。

また、ケンペン・フォルセナ副総裁は、「この現地通貨建ての債券発行は、タイの資本市場へのADBの信任を強めるものにもなる。そして、今回の債券発行に際しては、新しいルールづくりのフレームワークや文書・書類化なども可能になったが、そうしたことがタイにおける新たな国際的な資金調達者の債券発行を促すことにもなる」と述べた。

加えて、今回の債券発行は、国際的な投資家をタイの債券市場にひきつけると同時に、通貨のクロス・マーケットでの通貨スワップ取引の流動性を高めることにも役立つ。ADBは、通貨スワップ取引によって調達した現地通貨を米国ドルに転換して活用する。

Media Inquiries Only

Yoshiji Makino
Tel: +81 3 3504 3160
Email: ymakino@adb.org

Electronic versions of ADB news releases

ADB Online Media Center: media.adb.org
ADB web site: www.adb.org